

港湾内被覆工事の概要

平成26年2月27日
東京電力株式会社

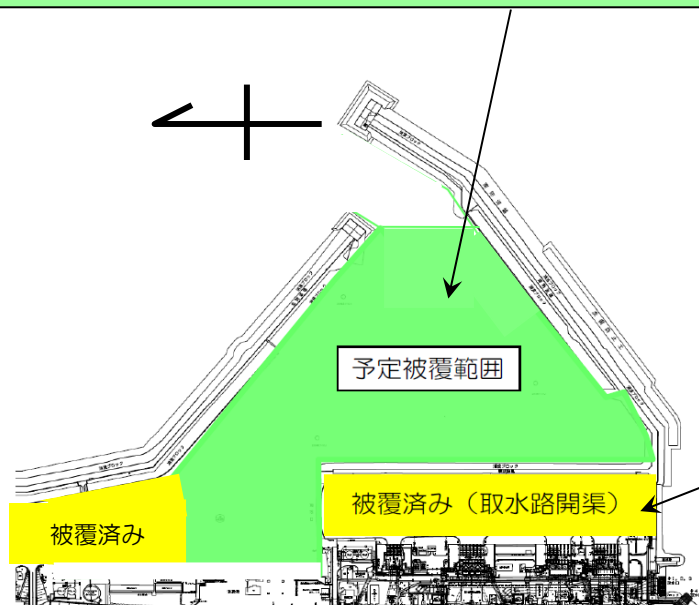


1

1. 港湾内被覆工事の概要

<被覆工事>

目的：港湾内の海底面を被覆することによって
海底土砂に含まれる汚染物質の拡散を防止する
被覆面積：180,000m²



<先行工事>

目的：今回と同じ
工期：H23.12～H24.8(8ヶ月)
面積：72,600m²



2. 被覆の構造

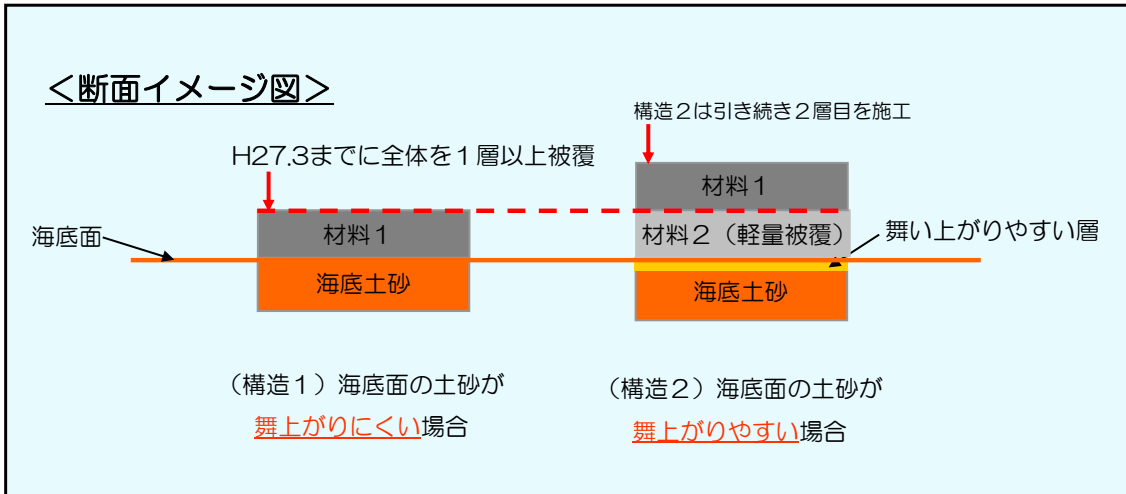
被覆の構造は、2種類の構造を海底の土砂の状況に合わせて使い分ける計画

1. 構造1

海底の土砂が舞上がりにくい場合（砂地盤）

2. 構造2

海底の土砂が舞上がりやすい場合に軽い材料で下層を固めた後、構造1と同様な材料で被覆（シルト等の舞上がりが想定される場合）



東京電力

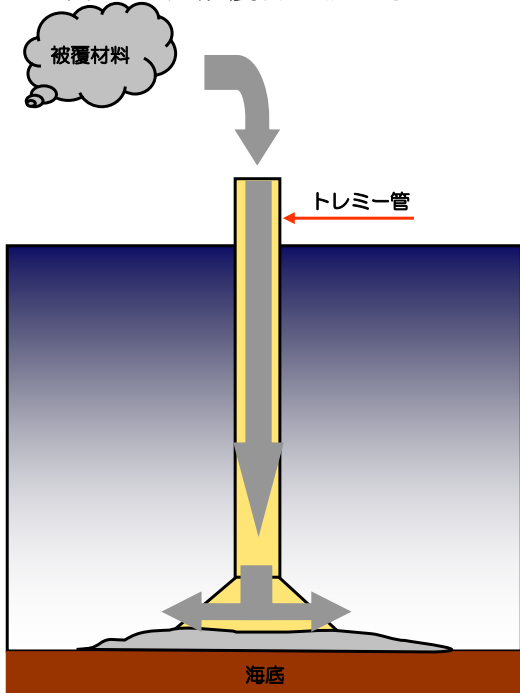
無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

3

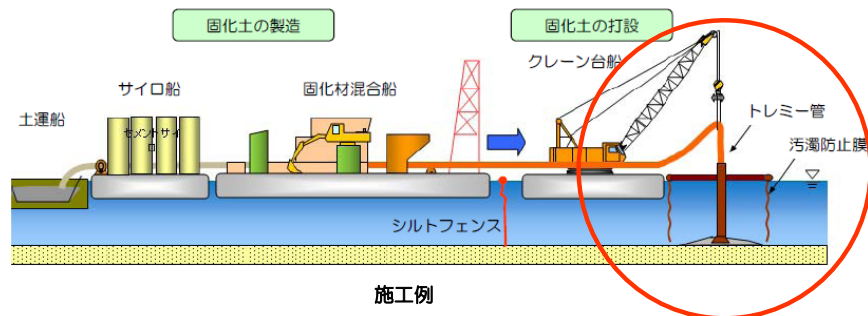
3. 施工方法他

1. 被覆材料の海中への投入は、トレミー管と呼ばれる筒を海底付近まで降ろし、被覆材を投入する計画

2. トレミー管の回りに図のような汚濁防止膜を設けて、投入する範囲内を確実に被覆するとともに、濁度が上昇した場合に拡散を防ぐ計画



被覆材投入のイメージ



3. 施工中のモニタリングの定期的な実施をしながら作業を進める計画

(被覆材の製造)

1. ベントナイトスラリー製造
ベントナイトへ淡水を加水し、養生後発泡（軽くする）
2. 被覆材製造
ベントナイトスラリーへセメントを添加する



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

4

